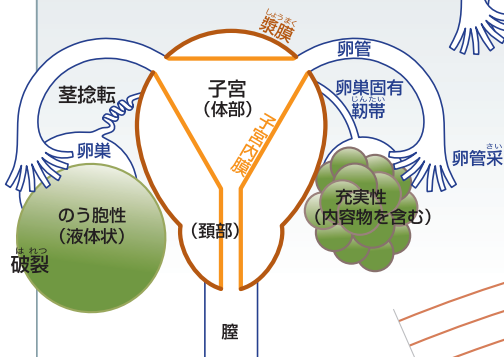


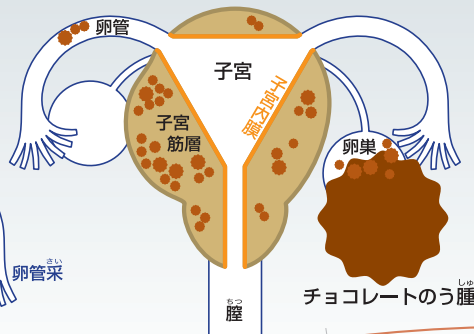
卵巣のう腫

卵巣にはさまざまな組織があるが、それぞれから異なった性質の腫瘍が発生する。のう胞性(液体状)には、表層の上皮から発生する漿液性のう胞腺腫が、また充実性(皮膚組織や骨、歯、毛髪などが含まれる)には、成熟奇形腫、線維腫、莢膜細胞腫などがある。成熟奇形腫と線維腫は、大きくなると卵巣固有靱帯がねじれる茎捻転が起きやすい。



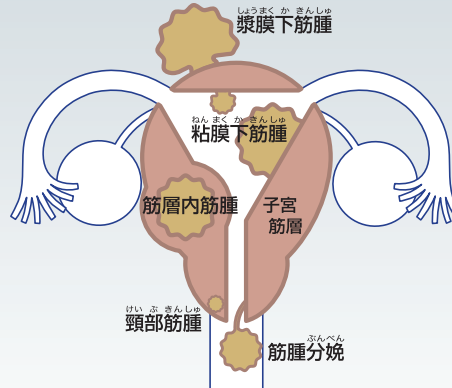
子宮内膜症

子宮内膜組織が子宮以外の場所にでき、通常の月経と同じく増殖・剥離・出血という周期的変化をする。血液が排出されず、臓器との癒着が起こる。卵巣、卵管、膀胱、S状結腸、直腸、骨盤、腹膜、子宮靱帯などに発生しやすく、特に子宮筋層に発生するものは子宮腺筋症と呼ばれる。



子宮筋腫

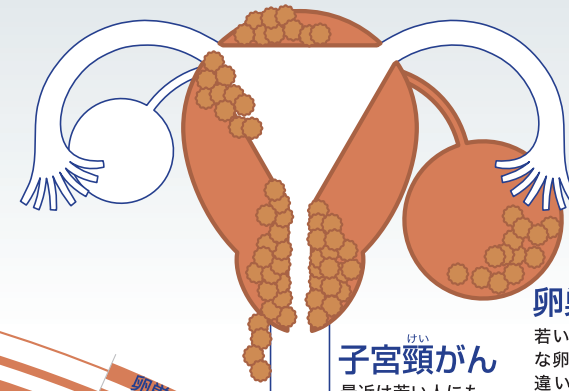
子宮の筋肉にできる良性的な腫瘍(こぶ)。30代以上の2~3割に見られる。



女性年表と子宮・卵巣のトラブル

子宮体がん

50代に多く発生するがんで、閉経後に膣から出血したときは、子宮体がんの可能性が非常に高いので、すぐに診察を。



卵巣がん

若い時期の良性的な卵巣のう腫と違い、閉経後の卵巣のはれは卵巣がんの可能性が高い。

子宮頸がん

最近では若い人にも多く発生するがんで、性交で感染するウイルスが原因。

トラブル発生年齢

月経不順・月経困難症

10歳ごろ

小児期(少女期)

7歳以下。女性ホルモンの分泌はまだなく、体形も男の子とまだあまり変わらない。

初潮 10~14歳

栄養状態がよくなったことなどが影響して、初潮を迎える時期は低年齢化している。3~5年は周期もまだ不安定。毎月安定した排卵が行われるようになり、子宮も十分に成長することで、いつでも妊娠可能な体になる。

18歳ごろ

思春期

8~18歳ごろ。8歳ごろから女性ホルモンが分泌され始め、少しずつ女性らしい体つきに変化していく。少女から成熟した大人の女性へと成長。

25歳ごろ

成熟期

18歳~40代半ばごろ。女性としての成熟期。ホルモンバランスも安定し、妊娠、出産に適している時期。卵巣の機能低下は早い人で30代後半から始まり、徐々に月経時の出血量が減少し、月経周期が乱れる。

結婚 27.4歳

女性の平均初婚年齢*

出産 28.1歳

第1子の平均出産年齢*

成熟期

高齢出産 35歳~

35歳以上で初産を迎えるいわゆる「マル高」。卵子も年を取り、体力的な衰えなど、20代のごころに比べれば多少リスクは高い。晩婚化傾向もあり、35歳以上の出産は増えている。

35歳ごろ

成熟期

早発閉経

43歳未満で閉経状態になってしまうこと。自然閉経にはまだ早いので婦人科で相談を!

45歳ごろ

更年期

45~55歳ごろ。閉経の前後5年間。卵巣の機能が衰え始め、ホルモンバランスも乱れがち。更年期障害として、いろいろな症状も出やすくなる時期。

55歳ごろ

更年期~高齢期

更年期以降、閉経して女性ホルモンが分泌されなくなると老化は一気に加速。特に骨粗鬆症にかかりやすくなる。

70歳ごろ

年齢は平均的な目安です。

ライフイベント

*…厚生労働省「人口動態統計」2004年